

2015年度日・EUフレンドシップウィーク企画が開催

2015年5月12日から28日まで、中央図書館 1 階にてヨーロッパ研究所EU情報センター主催のポスター展「極限の時代における独裁と民主主義～20世紀ヨーロッパ史を照らし出す光～」が開催されました。この企画は、駐日EU代表部の協力による「日・EUフレンドシップウィーク」の企画の一環として実施されたものです。ドイツ大使館より提供された25枚のポスターを通じて、第1次世界大戦から第2次世界大戦、冷戦終結、EU拡大までの激動のヨーロッパ20世紀史を振り返る内容が好評を博しました。

5月19日には、同テーマでドイツ大使館のドミニク・ポーネン二等書記官による講演会が行われ、学生を中心に約100人が来場しました。質疑応答ではドイツの日本への関心度、国際社会におけるドイツの役割、最近のEUとドイツの動向、過去の歴史を振り返る日独の文化政策の違い、などに関する質問が寄せられ、活発な議論が展開されました。

また、ポスター展会場ではヨーロッパ研究所所属教員らによる「研究所所員が推薦する図書と映画20選」の展示・貸出や駐日EU代表部提供によるEUグッズプレゼントキャンペーンも行われ、フレンドシップウィークを盛り上げました。



20世紀ヨーロッパに関するお勧め図書



20世紀ヨーロッパに関するお勧め映画 (DVD)



ポスター展



ポスターに見入る学生たち



本やDVDも関心を集めた



展示の様子



ドイツ大使館提供のポスター25枚

講演会



ドイツ大使館ドミニク・ポーネン二等書記官



活発な質疑応答